

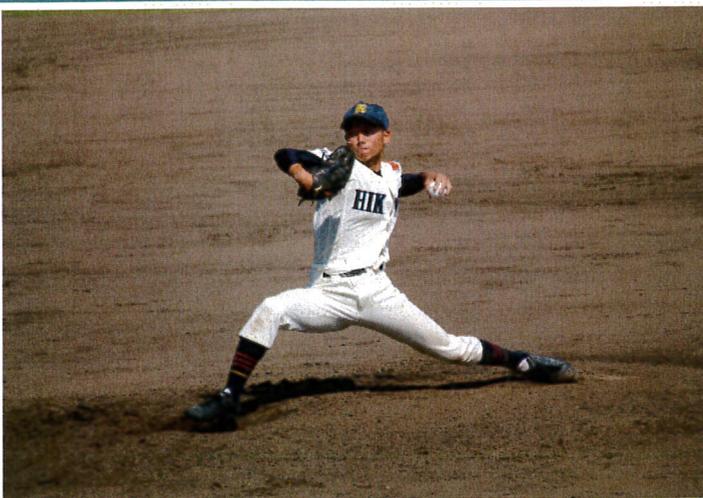
野球 平成29年度春季近畿地区高等学校野球滋賀大会

決勝

彦根東 4—0 草津東

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
草津東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彦根東	0	1	0	0	0	1	0	2	×	4

▼好投球で相手を抑え込んだ増居君



5月5日に県立彦根球場で平成29年度春季高校野球滋賀大会の決勝戦が行われた。本校野球部は県立草津東高校と対戦し、4—0で勝利し10年ぶりの優勝を飾った。

本校は2回裏四球や6番辻山知志君(3—6)の安打などで得点圏に走者を進め7番増居翔太君(2—4)のレフトへの犠牲フライで1点を先制した。6回裏には1番原晟也君(3—8)の左中間を破る三塁打から2番朝日晴人君(2—4)の適時打で1点を追加した。さらに8回裏2アウトから相手のミスにより走者を溜め代打田澤壮太君(3—3)のダメ押し2点適時打で試合を決めた。守備では滋賀学園戦で完投した増居君が再び完投し、被安打4、与四死1、13奪三振と見



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

増居君 13Kで完封

10年ぶりの優勝

事な投球を見せ、完封勝利を収めた。増居君は13奪三振という自身のプレーを「試合中は全く意識していなかった。思い切り腕を振ってコントロールを意識した」と述べ、近畿大会や夏の大会に向けて「終盤はばててしまった。これから暑くなるのでさらにしんどくなるが、この結果に満足することのないようにしたい」と課題を話した。6回に適時打を放った朝日君は「どうしても1点欲しかった場面で、後ろにつなぐことを考えて打った」と振り返り、今大会の感想を「春の優勝を目標に練習し、当たり前のことをやろうとしてきた。恥じないプレーをしたい」と近畿大会に向けて意気込んだ。8回に代打で出場し2点適時打を放った田澤君は「いつ

もは事前に言われていたが今回は急だった。最初はちぐはぐだったが最後はうまくいってよかった」と突然の起用だったことを明かした。顧問の村中隆之先生は完封の増居君の投球を「滋賀学戦より球が走っていた」と、田澤君を「朝から振り返りよく、期待に込めてくれてよかった」と称賛された。また今大会を振り返って「試合前の心とプレーの準備ができていなかった。夏までには3回までに主導権を握れるような展開ができるようにしたい」と見据えられ「近畿大会ではどの学校と対戦するかかわらないが、近畿地区は全国に近いチームが多いので自分たちの力がどこまで通用するか確かめたい」と近畿大会の目標を話された。



◀ 8回に適時打を放った田澤君